

KAKUNODATE

選定50年の軌跡、拓く未来
仙北市

角館 伝建選定

50周年

重要伝統的建造物群保存地区選定
50周年記念シンポジウム

令和8年

10月18日(日)

《入場無料・申し込み不要》

場所／仙北市角館交流センター

〒014-0368 秋田県仙北市角館町中菅沢77番地30

時間／13:00～17:00

(12:00受付開始)

基調講演 講師：永井 康雄氏
(山形大学工学部 建築・デザイン学科教授)

「角館の町並みの特徴と価値」

中学生による学習成果の発表

角館中学校2年生が伝建地区の町並みの整備や保存について課外学習を行い、その成果を発表します。

パネルディスカッション

「時を越えて、守り継がれる
武家町の文化とその矜持」

古写真展・写生大会作品展

選定前の仙北市角館伝統的
建造物群保存地区
写真撮影／松橋平八郎氏

現在の仙北市角館伝統的
建造物群保存地区

国指定重要文化財「岩橋家住宅」 令和8年1月15日指定
秋田県指定史跡「武家屋敷 岩橋家」 昭和48年12月11日指定

《主催》仙北市 《後援》秋田県／秋田県教育委員会／仙北市教育委員会／全国伝統的建造物群保存地区協議会／秋田魁新報社／朝日新聞秋田総局／毎日新聞秋田支局／読売新聞秋田支局／産経新聞秋田支局／河北新報社／共同通信社秋田支局／時事通信社秋田支局／NHK秋田放送局／ABS秋田放送／AKT秋田テレビ／AAB秋田朝日放送／エフエム秋田／仙北市角館町文化財保護協会／角館伝建群保存地区の町並みを守る会／一般社団法人田沢湖・角館観光協会

お問い合わせ：仙北市観光文化スポーツ部 文化財課 〒014-0392 秋田県仙北市角館町中菅沢81番地8 TEL 0187-43-3384・FAX 0187-54-4102

このシンポジウムは宝くじの社会貢献活動に関する補助金を使用して実施します。





選定50年の軌跡、拓く未来

仙北市角館伝統的建造物群保存地区（以下、「伝建地区」）は秋田県南東部の内陸地にあり、元和6年（1620年）に芦名氏によりつくられ、佐竹北家に引き継がれた城下町であった。伝建地区は旧武家町のほぼ中央にあり、上・中層武士の武家屋敷が建ち並ぶ。広い通り沿いには門と黒板塀を廻らせた武家屋敷が連なり、シダレザクラやモミの大木が深い木立を形成しており、江戸時代の武家町の面影をよく遺している。

仙北市角館 重要伝統的建造物群保存地区選定50周年記念シンポジウム

と き／令和8年10月18日(日)

ところ／仙北市角館交流センター

基調講演

「角館の町並みの特徴と価値」

講師：永井 康雄 氏（山形大学工学部 建築・デザイン学科教授）



1961年（昭和36年）生まれ、埼玉県川口市出身。博士（工学）。全国各地の重要伝統的建造物群保存地区保存審議会委員や文化財保護審議会委員を務め、2018年（平成30年）3月、仙北市角館伝統的建造物群保存地区保存審議会委員に就任。同年4月からは文化庁文化審議会専門委員に就任し現在に至る。専門は建築史。1985年（昭和60年）から7年間、安藤家・太田家・旧石黒（恵）家など角館における主要建築の実測調査を行い、角館との関わりは以来約40年にも及ぶ。

中学生による学習成果の発表

角館中学校2年生が伝建地区の町並みの整備や保存について課外学習を行い、その成果を発表します。

パネルディスカッション

「時を越えて、守り継がれる 武家町の文化とその矜持」

コーディネーター：渡邊 泰 氏（仙北市角館伝統的建造物群保存地区保存審議会委員、元長野県塩尻市文化財課長）

パネリスト：永井 康雄 氏（山形大学工学部 建築・デザイン学科教授）
大槻 洋二 氏（山口県 萩博物館・萩まちじゅう博物館館長）
清永 洋平 氏（文化庁建造物課伝統的建造物群部門文化財調査官）
柴田 政幸 氏（角館伝建群保存地区の町並みを守る会会長）
田口 知明 （仙北市長）

古写真展・写生大会作品展

